

きょうだいの日

第16回
〜
第20回

おなじみさんも、はじめてさんも、たくさんのきょうだいさんがあそびにきてくれた「きょうだいの日」。みんなが笑ってくれることがうれしくて、もつともつとたくさんのきょうだいさんの笑顔が見たくて、その繰り返しであったという間の10年間でした。10年…あんなに小さかったきょうだいさんたちが中学生になり、高校生になり、大学生になり…大きくなった姿を見せてくれる時に、嬉しさと一緒にやっと「10年経ったんだなあ!」という実感がわく私たちです。

これからきつと同じように、ただきょうだいさんの笑顔を見るために、「きょうだいの日」は続いていきます。しょぼくて、ぐだぐだで、ゆるゆるなもの、きつこのまま(笑)。

第1回から変わらず大人気で定番の「風船サッカー」。もともとはアメリカのシブショップのゲームで、「プッシュピンサッカー」といいます。名前の通り、ゴールキーパーがプッシュピン(画鋏)で風船を割ったら1点というルール。最初のころはしぶたねでもプッシュピンで風船を割っていましたが、割れるときの音が苦手な子、風船を帰りに持って帰るのを楽しみにしている子がいたことから、今はゴールにテープを渡してそこを超えたら1点というルールになりました。

使う風船にもいろいろ変化がありました。ハート型の風船になったり、ゴミ袋をつないでつくった大きな風船が混ざったり、1番盛り上がったのは何と言っても巨大風船☆少し少なめに空気を入れることで、なかなか割れないバランスボールのようなボヨンボヨン具合になるのです。最初は「大きい!割れるのこわい!」と思ったきょうだいさんたちも、すぐに「どうやらこれはいろいろやっても割れないぞ…!」と気づいて、叩いたり蹴ったり追いかけたり。毎回巨大風船は、終了後も最後まで大人気で。

おとなが持つてもこのサイズ→

←実は、ふくらませる時が一番ドキドキなので(笑)。シブレンジャー3人がかりでかんばんっていますよ。

つぶたねグッズ、ちょこちょこいろいろつくってきました。バッジはだいぶしアかも?次のグッズも企画中です!

名前が「つぶたね」になったのは、ビーズマスコットをつくるようになってから。「ちび」より小さいから「つぶ」たね。名付けたのはシブレッドです。

デザインはつぶたねの神様(?)が降りて来て勝手に決まります。実は、第1号はこんな子でした…かあい…???

このマスコットはカンパグッズ。1000個近く旅立っていったのでほとんどありません。ありがたございます!

最初は輪になって人形を投げ合うシブショップのゲームのためにつくったあみぐるみでした。

当たっても痛くなく、ちょっと投げにくくて、なんだかへんてこだったり可愛かったりするのいいなと思って編みました。

つぶたねのひみつ?

種ちしき?

すっかりベテランレンジャーさんになってくれたシブピンクはなぜか風船を呼びます…どこにいても風船が飛んできて、顔面にボン!レンジャーさんでなく、カメラマンとして参加してくれているときも、やっぱり豪快に顔に…。本人も笑ってしまいうぐらい、いつでも風船を呼んでしまうピンクなのです。

みんなの心がひとつになったゲーム1位の巨大スティッキー



風船サッカー。ゴールに殺到!



幻の第19回

第19回の「きょうだいの日」は、「きょうだいの日」史上初の中止で、幻の第19回になりました。申し込みがもともと少なかったところに、体調不良と習い事や部活が重なって、申し込んでくれたご家族がすべてキャンセルになり開催中止に。きょうだいさんも残念がってくれましたが、子どもたちとあそぶのを楽しみにしていたシブレンジャーさんとはいかにさんたちもがっかり。でも長く続けていけばこういうことも起こります。「きょうだいの日」の定員が12名だと言うと少なく感じる方が多いですが、実は申し込みはそんなに多くありません。ニーズがなくて少ないのならよいのですが、他のきょうだい会(病気の子どものきょうだいではなく、障がいのある子どものきょうだいを対象に活動しているグループ)の話を聞いたり、病気のお子さんの親御さんからお話をうかがっていると、ニーズは高いように感じます。ではどうして少ないのか、ということもいつも考えます。参加しにくい理由が何かあるのかも。きょうだいさんを連れて会場まで来るのが大変なのかも?病気のお子さんの体調の変化に合わせた参加の難しさがあるのかも?病院内で開催すればもっと参加できるきょうだいさんが増えるのかも?「きょうだいの日」を必要としているきょうだいさんが少しでも参加しやすくなるように、これからも工夫しながら続けていきたいと思っています。

出前きょうだいの日!

きょうだいさんに会いに行きましょう!

半年に1回の「きょうだいの日」実は出前もできます(いつもの「きょうだいの日」よりもこじんまりした感じになります)。2006年には岸和田保健所に、シブレッドとシブレンジャーさん2人と一緒に、「きょうだいの日」を出前しました。きょうだいさんと親御さんとが一緒にあそぶ時間と、親御さんたちが別室でみんなでお話をする間にきょうだいさんとレンジャーさんとあそぶ時間をつくり親御さんたちからは「子どもとゆっくりあそべてよかった!こういう活動がもっと広まってほしい」と、きょうだいさんからは「楽しかった!また来るから待っていてください」と嬉しい感想をいただきました。いつもより親子でふれあうあそびの時間を長めにつくったので、親御さんにぎゅーっと抱きしめられたり、ぎゅーっと抱きついたり、嬉しくて楽しくて、子どもたちとっても可愛い笑顔を見せてくれました。

2010年にはエス・ビューローさまの「第3回小児がん・脳腫瘍全国大会inびわこ」に、小さな「きょうだいの日」を届けに行きました。「何がはじまるのかな?」と最初はちょびり緊張していたきょうだいさんたちも、しぶたねのゆるーくしよぼーい雰囲気になじんできて、廊下に出て紙コップつみつきみりレーや風船サッカーを楽しみ、最後は太陽に当たると色が変わるスライムであそびました。窓際に持って行って「ピンクになった!」のばしたら透明に戻る!とみんなが色が変わったスライムを次々に持ってきて見せてくれて、とってもとっても嬉しくなりました。

いつもは「きょうだいの日」に来てくれる子どもたち。反対にシブレンジャーからきょうだいさんに会いに行く日も、これから少しずつ増やしていけるといいなあと思っています。

種ちしき



さりげなく招待状のおまけクイズの中に混ざっていた全身スーツ姿のシブレッド。シブレンジャーのコスチュームデザインは、実はレッドの頭の中ですでにしっかり固まっているのです。いつかお面だけじゃなく、ちゃんと全身作りたいなと思っているレッドですが、他のレンジャーさんは…どうかな…